

スタディスキル4

学習態勢を整えるために！

～意欲を育てて、学習効果を上げよう～

(1) 困っていること

やることが
分かんない！

もういいよ。
どうせ、
分かんない。

姿勢をよくしていると、
姿勢のことばかり
が気になって、先生の
話が聞けないの。

気になることがあると、
我慢して
られないよ。

本当は、分かった
いし、できるよう
になりたいんだ
よ…

- 意欲はあるのに、一斉指示やみんなと同じ方法では分からない。
- 気になると、身体が動いてしまう。
- 叱られてばかり…。

(2) 要因

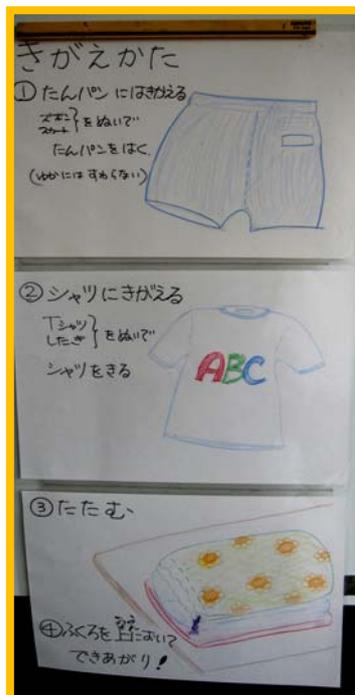
感情や動きのコントロールの弱さ・発達の偏り・
ルールのあいまいさ

そこで…

(3) 対応

ルールや約束を視覚的に提示しよう！

① 手順表の活用

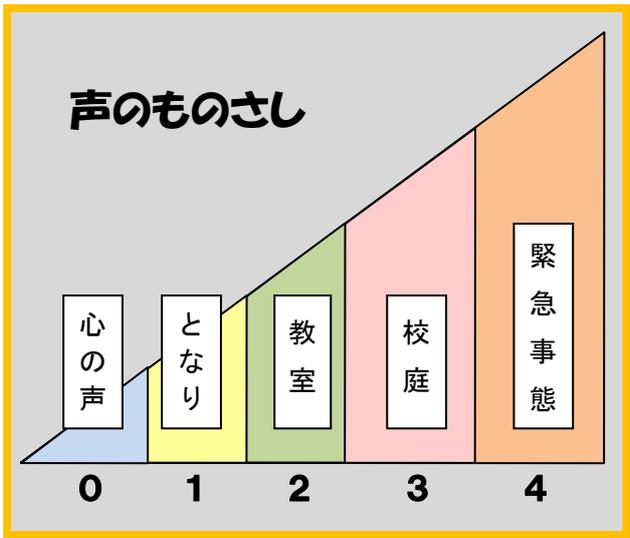
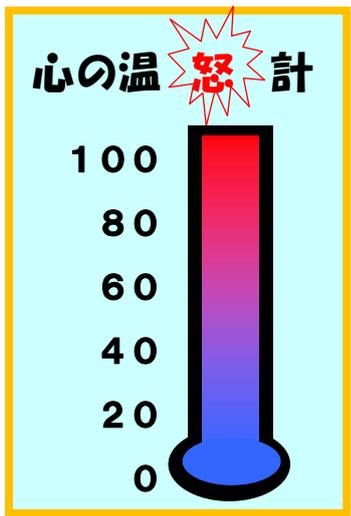


〇〇グループのめあて

- ・はなしを だまって **きこう**
- ・アドバイスされたら **すぐに やろう**
- ・あきらめずに **がんばろう**
- ・ちゅういしないで **やさしくおしえよう**

- ルールを明文化して、
必要な時に提示する。
- 順番がわかりやすいように、
番号をつける。

②絵カードの活用



- やってほしい行動を分かりやすく示す。
- ルールの確認。(注意や指摘は要注意)
- 「もう少し」など、言葉だけでは分かりにくいことも、数値を活用すると分かりやすくなる。
- 身体のコントロールが難しい子には、視覚の手がかりがあるとイメージしやすい。

そこで...

スモールステップで評価しよう!

①頑張りカード

めあて、まもれたかな?

が つ に ち よ う び

・よくできた ◎
 ・できた ○
 ・すこしできた ●
 ・つぎ、がんばる △

めあて	じぶん	せんせい
名まえをよばれてから話す		
つくえを たたかない		
さいごまで がんばる		
時間になったら、かたづける (ほん・あそび)		
せんせいより		

- 頑張りカードや振り返りカードを活用して、個別に評価していくことが有効なことがある。
- 「×」ではなく、次に頑張ればよいという評価をする。
- スモールステップで、達成可能な行動の目当てを示していくことは効果的。
- 短くてもいいので、温かい一言を!

先生からのメッセージは、とても楽しみ! やる気が出るよ!



②シール

- ほめる場面を意図的に作る。ほめて、ほめて、ほめよう！
- ルールや約束が守れていたら、すぐにその場でほめる。
- 一度出した指示やルールは、最後まで見守り、必ず最後は、賞賛で終わるようにする。
- 🌸やシールなどを効果的に使う。
- 好きなキャラクターの活用も！



頑張っている家族への、ねぎらいもわすれずに！

家庭でも、結果ではなく、頑張っているところをほめるようにしてもらえるといいですね。ほめてあげられるように、実行可能なお手伝いを考えてもらいましょう。

③笑顔



先生が笑っていると、安心！安心！

そこで...

学級集団を育てよう！

あの子がいると勉強ができない！
先生を独り占め！ずるい！



①子どもを育てるABC

★横浜プログラム※も役立ちます！

A

「ルール作り！」

- 教師がいないときは、「座って待つ」ことを徹底する。
- 間違ったことを指摘するのではなく、取るべき行動を教え合える関係作りを目指す。

B

「安心感を！」

- 教師は、一貫性のある落ち着いた態度を示す。
- 待っている児童生徒への賞賛の言葉かけを忘れない。
- 学習の進捗を保障する。

C

「いいところみつけ！」

- お互いに、いいところを認めあえる。
- 結果だけではなく、頑張っているところ等過程も評価する。

※学校生活を通して、人間形成にかかる社会的スキルを育成するために開発した指導プログラム。